

Report

Hokkaido Soil Research Cooperative Association

SRC



2025. 7
No. 413

ISSN 1342-1409

北海道土質試験協同組合広報誌



表紙写真 白金青い池

[写真説明]

十勝岳の泥流災害を防ぐために作られた堰堤に水が溜まり、その水にアルミニウム成分を含むため光が反射して青く見えるため、いつしか「青い池」とよばれるようになりました。池になる前に自生していたカラマツやシラカバが立ち枯れ幻想的な風景に。

目

次

1. 巻頭言	1
株式会社 構研エンジニアリング 代表取締役社長 池田 憲二	
『人皆有不忍人之心』	
2. 令和7年度(第60期) 通常総会議事録	3
3. 令和7年年度第1回理事会議事録	4
4. 令和7年年度第2回理事会議事録	4
5. 組合員室内試験研修会を開催	5
6. 第40回技術懇談会を開催	6
7. お知らせコーナー	7
8. 部門別試験実績 4・5月分	8



『人皆有不忍人之心』

株式会社 構研エンジニアリング
代表取締役社長 池田 憲二

先日、ある会合で映画監督の田中光敏氏の講演を聞いた。そこで「海難1890」という彼の作品を知った。2015年に公開された感動の作品である。趣味はと聞かれ、映画と答えることのない私にとって、恥ずかしながら彼の名前もこの作品も知らなかった。しかし、映画の中で扱われているエピソードについては、相当以前から知っていた。

1890（明治23）年、日本親善訪問を終えたオスマン帝国の軍艦エルトゥールル号は帰国の途に就いた。しかし、台風により現在の和歌山県串本町紀伊大島沖で座礁、ボイラーが水蒸気爆発を起こし、沈没。大島村民たちが懸命の救助作業やご遺体の収容、遺品の回収などを行い、最終的には乗組員656名のうち69名が救出された。後に彼らは大日本帝国海軍の「比叡」と「金剛」により、首都イスタンブールまで送り届けられた。さらに日本中から送られてきた義援金がトルコの遺族に届けられ、一方、トルコからは救助に当たった日本人たちへ謝金を送られてきたが、日本側は遺族に差し上げてほしいとこれを辞退した。これを契機に日本とトルコでは多くの親善行事や慰霊の行事が行われ、また、長年トルコを苦しめていたロシアを日本が日露戦争で破ったことから、男の子に「トーゴ」と名付けることまで流行し、トルコは世界一の親日国になったという。

映画「海難1890」はエルトゥールル号のエピソードから始まり、一転、イラン・イラク戦争の1985年に場面が変わる。

1980年に勃発したイラン・イラク戦争は一時休戦となったが、イラクは協定を破り、再びイランに向けて攻撃を開始した。当初は両国国境付近での戦いはやがてイランの首都テヘランが空爆されるようになり、外国人たちは乗り入れている自国の定期便や救援機で次々と脱出を図る。しかし、日本～イラン間に定期便はなく、多くの日本人たちは自国民を優先する外国便の航空券を入手できず、イラン国内に取り残されていた。

そして、48時間後にイラン上空を飛ぶ航空機を軍民の区別なく攻撃するというサダム・フセインによる宣言が発表されたが、当時、自衛隊機による邦人救出は、憲法や改正される前の当時の自衛隊法の規定から不可能であり、国会の承認を取るにしても時間がない。日本航空は志願するパイロットはいるものの乗員の安全が担保できないと組合が反対し、救援機の派遣を拒否。テヘラン空港に取り残された215名の日本人は絶望的な状況に陥った。この窮状を知ったトルコのオザル首相はトルコ人が脱出する定期便に加えて、日本人優先の救援機を飛ばすことを決定。その乗員に志願者が募られた。映画ではこのシーンが感動的に綴られている。グリーンフィングルームに集められた乗員たちは、この危険な任務を志願する者はいないかと問われ、全員が一斉に手を高く挙げるシーンとなっている。思わず目頭が熱くなる。

なお、日本人に席を譲ったトルコ人たちは陸路でイランを脱出したという。グーグルマップで調べたら、テヘランからトルコ国境まで陸路で約800km。映画ではイスタンブールまで2日で行くと言っていたが、約2,400kmもある。

このトルコ航空による日本人救出劇を私は1991年の外務研修第5部で聞いた。この研修は在外公館に派遣される他省庁からの出向者のための研修で、当時は5か月間にわたって行われていた。私は在フィンランド日本国大使館に一等書記官として派遣されるため、この研修を受けていた。

各国は自国民を救出するため、紛争地に軍隊を派遣する。その時の講師によると、ある紛争国の港に英国民を救出するため、クイーンエリザベス号が英国海軍に守られながらやってきた。岸壁に着いた船から最初に降りてくるのは、ユニオンジャック(英国国旗)である。続いてGod Save the Queen(英国国歌(当時))を演奏しながら軍楽隊が降りてくる。今か今かと待っていた英国民は大歓声をあげ、涙を流しながらこれを迎える。しかし、当時の自衛隊にはテヘランに取り残された日本人を救出できなかった。意志も能力も装備もあるのに。

外務研修の講師は、だから私は政情不安な国に赴任した時は、その国の宗主国や影響力のある国の駐在武官と仲良くするようにしていた、自宅設宴の時は必ず彼らを招くようにしていたと言っていた。いざとなったらその国の軍隊に日本人を助けてもらおうということだ。政情不安な途上国に駐在する日本の外交官はそのための関係構築、人脈作りのため、日頃から外国の駐在武官にたくさんの酒を飲ませるのだ。

北海道でも1939年(昭和14年)12月12日、真冬の猿払村沖でインディギルカ号遭難事件が起きた。暴風雪に煽られ、岩礁の上で船が横倒しとなり、村人や警察などの懸命の救助により400余名が助けられたが、700余名は亡くなったという。救助されたのは半年前に戦火(ノモンハン事件)を交えた言わば敵国の人間である。しかし、その国はトルコのように恩返しをすることでか、後に当時有効だった中立条約を破って日本に攻め入り、多くの日本人をシベリアに連れ去り、酷使し、死に至らしめた。北方領土のほか、北海道北部も占領しようと、8月15日を過ぎても日本海における軍事行動を止めなかった。潜水艦は白旗を掲げた引揚船に雷撃または浮上して砲撃を加え、海に投げ出された人には機銃掃射を浴びせた。三船殉難事件では行方不明を含めると1,700名以上が犠牲になっている。

1942年(昭和17年)、インドネシアのスラバヤ沖で撃沈されたイギリスの軍艦から海に投げ出された英兵は日本の駆逐艦「雷(いかづち)」が近づいてくるのを見て絶望、機銃掃射を覚悟した。しかし、「雷」は停船し、救助活動を開始した。停船した軍艦は敵潜水艦の格好の餌食である。それでも「雷」は停船し、遠くに漂流者を発見すると、燃料浪費を顧みることなく発進停止を繰り返してこれを救助した。こうして乗員220名の「雷」が救助した英兵は422名だったという。戦後、「雷」の工藤艦長は家族にもこの事実を話すことはなかった。しかし、助けられた英兵の一人が何年経ってもこの恩を忘れられず、工藤艦長の遺族を捜し出し、墓参りをしたことからこのことが世の知るところになったという。

今、まさに幼子が井戸に落ちようとしているのを見たら、誰でもはっとし、悲痛な思いで助けたいと思う。すべての人がそうであってほしい。

令和7年度（第60期）通常総会議事録

1. 開催年月日 令和7年5月26日（月）午後3時30分より
2. 開催場所 ホテルポールスター札幌
3. 組合員数及び出席者数 (1) 組合員数 47人
(2) 出席者数 46人(本人出席22人、代理人出席8人、委任状出席16人)
4. 議長の氏名 阿部 哲男（中央開発 株式会社 札幌支店）
5. 議事経過の要領及びその結果
 - ・第1号議案 令和6年度事業報告、決算報告及び剰余金処分（案）について承認を求める件
 - ・第2号議案 令和6年度事業利用分量歩戻（案）及び増資（案）について承認を求める件
⇒議長は第1号議案と第2号議案は関連性が高いので併合審議することを説明し、当該期における事業の経緯を事務局に説明させたうえ、上山 弘 監事（上山試錐工業株式会社）に監査の結果報告を求めた。同氏より監査の結果その処理は適正であった旨報告があり、満場異議なく原案どおり承認された。令和6年度事業計画（案）及び収支予算（案）について承認を求める件
 - ・第3号議案 ⇒満場異議なく原案どおり承認された。
 - ・第4号議案 令和6年度組合借入金の最高限度額について承認を求める件
⇒満場異議なく原案どおり承認された。
 - ・第5号議案 令和6年度役員報酬案（限度額）について承認を求める件
⇒満場異議なく原案どおり承認された。
 - ・第6号議案 役員辞任に伴う役員選任の件
⇒本日をもって辞任する折笠 章 専務理事及び上山 弘 監事の補選は、事務局に一任された選考委員による指名推選の方法により役員を選挙することとした。選考委員により専務理事に竹花大介（員外）、幹事に坂井敦行（和光技研株式会社）が推選され、満場一致で選任された。したがって、令和7年5月27日以降、理事長、副理事長、専務理事、理事、幹事は以下のとおり。

理 事 長	舟田 幸太郎	（株式会社 エーティック）
副理事長	田 中 卓	（拓北地下開発 株式会社）
専務理事	竹 花 大 介	【新任】（員外）
理 事	中 川 岳	（北海道士質コンサルタント 株式会社）
理 事	高 岡 伸 一	（野外科科学 株式会社）
理 事	高 橋 宣 之	（株式会社 ズコーシャ）
理 事	本 多 弘 幸	（ダイシン設計 株式会社）
監 事	佐 藤 彰 紀	（株式会社 開発調査研究所）
監 事	坂 井 敦 行	【新任】（和光技研 株式会社）



総会開催状況



理事長の挨拶

令和7年度 第1回理事会 議事録

1. 開催日時	令和7年5月12日（月） 午後1時30分
2. 開催場所	組合会議室
3. 理事総数	6名
4. 議事の経過の概要	議案（1）事業報告 令和6年度3月の事業実績及び、令和6年度の事業実績を報告した。3月の売上は計画を下回ったことが報告された。令和6年度の売上実績は、計画を6.7％下回ったことが報告された。令和5年度と比較すると売上高は99％とほぼ同様であった。組合員利用率は60.8％と令和5年度より6.6％下回る利用率であった。売り上げ構成比中の員外利用が増加している理由としては、災害復旧関連事業によるジオ・ラボネットワーク構成組合からの受注増や、道外企業からの受注増などが考えられることが報告された。また、令和5年度以上に原価を削減する事ができ、令和6年度についても利益を確保することができた。 （有）共同土質試験の令和6年度の売上は、計画を26.7％下回ったことが報告された。 議案（2）その他 ア. 通常総会議案書について精査し、5月26日の総会に諮ることとした。 イ. 監事により4月23日に実施された監査結果について、組合監査報告と共同土質監査報告について精査し、承認した。 ウ. 次回理事会は、令和7年5月26日（月）の定期総会閉会後に開催する事を決定した。

令和7年度 第2回理事会 議事録

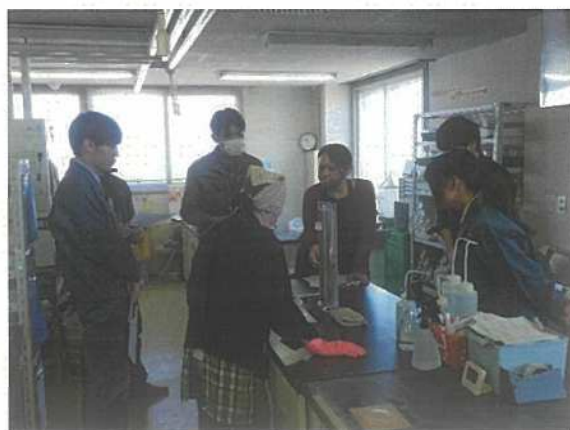
1. 開催日時	令和7年5月26日（月） 午後1時30分
2. 開催場所	ホテルポールスター札幌
3. 理事総数	7名
4. 議事の経過の概要	議案（1）専務理事選任の件 総会で選任された竹花大介を専務理事に令和7年5月26日付を以って就任することを承諾した。 議案（2）その他 次回理事会は、令和7年6月23日（月）に開催する事を決定した。

組合員室内試験研修会を開催

技術部 平 伸明

令和7年4月17・18日と5月15・16日の2回にわたり、組合員の若手技術者を対象に、室内土質試験研修会を開催しました。研修は、試験室スペース、使用機材の制限から各回5名での開催とさせて頂いておりますが、少人数のため、担当職員の試験指導や質疑も迅速に対応することができ、少しでも土質試験に対する理解を深めていただけたと考えております。物理試験では北海道のローカルソイルや各土質と目的に応じた試験手法についての説明、試験では塑性限界試験について3mmのひも状にするのが難しかったようです。力学試験では、一軸、三軸試験について目的に応じた試験の説明、乱れの少ない試料の抜き出しから供試体を整形や作製をして一軸・三軸試験を体験していただきました。岩石試験では膨潤性粘土鉱物を含む岩片の浸水前後の形態変化の違いなどを興味深く観察していました。短い時間でしたが、参加者の皆さんは結果の解釈や試験方法などをしっかり理解しようと熱心に説明に耳を傾け、活発な質疑もあり、有意義な研修ができたのではないかと思います。

参加の皆様には今後の研修の参考とさせていただくために簡単なアンケートをとらせていただきました。アンケートの中から今後実施してもらいたい試験項目について頂いたコメントの一部を掲載いたします。項目によっては場所の確保などが難しく対応できない試験もございますが、今後もできる限りのご要望応えて対応していきたいと考えております。



物理試験説明



力学試験説明

実施してもらいたい研修項目について



参加者コメント

- ・試験の内容についても実務との関連が分かりやすく、丁度良いと思います。
- ・講習内容を事前にもう少し詳しく教えていただけると、実際に見る、やってみるがもっとできて良いと思います。
- ・試験によってはもう少し詳しく、もっと簡単と思うこともあった。

第40 回技術懇談会を開催

技術部 平 伸明

6月13日(金)、札幌コンベンションセンター会議室にて第40回技術懇談会が開催されました。当日は組合職員を含め懇談会105名、懇親会75名の皆様にご参加いただきました。お忙しい中、ご参加いただき誠にありがとうございます。

懇談会は舟田幸太郎理事長の挨拶にはじまり、組合技術部からの報告では、國枝拓司より「粉末X線回折法(定性分析)のなぜなに」と題し、定性分析の概要説明や、皆様からよくある質問について発表いたしました。続いて、大和田明穂より「粉末X線回折によるスメクタイトの定量方法」と題し、検量線の作製や定量回折など、実務上の進行手順について説明いたしました。

特別講演として、北海道大学大学院工学研究院 西村聡教授に『新たな地盤工学問題と新たな試験ツール:土質試験はまだ面白くなる』と題して講演をしていただきました。三軸試験手法の違いによる強度定数の理解やばらつき、試験結果のひずみ測定方法や温度による違いなどをわかりやすく説明していただきました。また、画像解析などこれからの土質試験技術の高度化について非常に興味深い講演をしていただき、大盛況に終わりました。

懇談会後には懇親会も開催され、西村先生、組合員技術者、組合職員で有意義な情報交換や楽しい意見交換をさせていただきました。



西村先生の特別講演



組合からの活動報告



懇親会の様子



懇親会の様子



組合員代表者変更について

下記の組合員に代表者の変更がありましたのでお知らせいたします。

記

専務理事

(新) 竹花 大介 (員外)

(旧) 折笠 章 (員外) 令和7年5月

幹事

(新) 和光技研株式会社 代表取締役社長 坂井 敦行

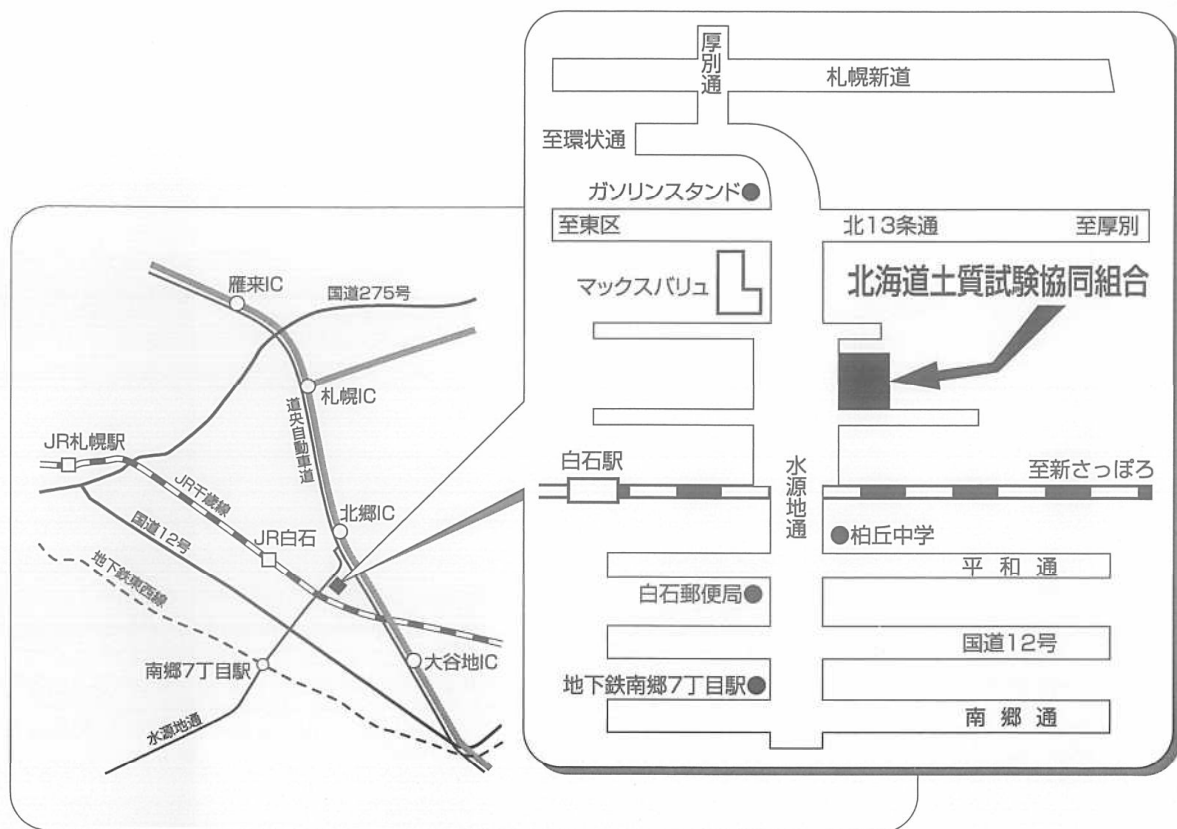
(旧) 上山試錐工業株式会社 代表取締役社長 上山 弘 令和7年5月

令和7年度 ジオ・ラボネットワーク経営懇談会に参加しました

平成7年6月6日に大阪にて開催されたジオ・ラボネットワーク経営懇談会に出席いたしました。懇談会には、全国9組合および全国地質調査業協会連合会から合計29名が参加し、各組合の運営状況、ジオ・ラボネットワークの収支報告、その他の活動報告がありました。また、ジオ・ラボネットワークを構成する土質試験協同組合(9組)の職員を対象として開催される技術交流会およびスキルアップ研修会についての以下の内容について報告等がありました。

・令和7年度技術交流会：令和7年度10月2日～3日に中部土質試験協同組合において各組合の技術情報の共有を行うことを目的とし技術交流会が開催予定です。今年度テーマは、「技術力・組織運営・設備の維持管理・社会貢献の現状と将来展望」です。当組合からも参加予定であり、情報収集して日常業務の効率化を図っていただくと考えています。

・2025年度スキルアップ研修会：令和7年度8月28日に協同組合土質屋北陸において土質試験の理解を深めることを目的としてスキルアップ研修会が開催予定です。JIS等の基準書に明文化されていない試験手順について意見交換を行う予定であり、当組合からも参加予定です。試験結果の品質や精度を確保しつつも効率化ができる面があれば参考にしていきたいと考えています。



① 高速道路を利用した場合

旭川方面から 札幌IC出口より 約10分

小樽方面から 大谷地IC出口より 約10分

室蘭方面から 札幌南IC出口より 約15分・北郷IC出口より 約8分

② 国道を利用した場合

旭川方面から 国道12号 から水源地通りを右折

小樽方面から 札幌新道(国道274号)から厚別通りを右折し水源地通りを左折

室蘭方面から 国道36号 から水源地通りを右折

③ 公共交通機関を利用した場合

JRを利用した場合 JR白石駅下車、徒歩約15分

地下鉄を利用した場合 市営地下鉄東西線、南郷7丁目駅下車、徒歩25分

又は、北海道中央バス(白25番)に乗り継ぎ、北郷2条8丁目下車

●発行所

北海道土質試験協同組合

〒003-0831 札幌市白石区北郷1条8丁目3番1号

TEL 011-873-9895 (代表)

FAX 011-873-9890 (総務部)

FAX 011-874-1910 (技術部)

ホームページアドレス <http://www.src.or.jp/>

地質調査業者登録

土壤汚染指定調査機関登録

ISO/IEC17025:2018認定登録

●発行日

第413号 令和7年7月15日

●編集責任者

竹花 大介

●印刷

株エーシーピー TEL 231-7575

